

新型コロナウイルス感染症を予防しましょう

問健康増進課 ☎32-2069

新型コロナウイルスに感染しない、感染させないために、インフルエンザなどの予防と同様に「手洗い」「うがい」「せきエチケット」などを心掛けましょう。

せきエチケット



感染を予防するために心掛けることなど、津山中央病院総合内科・感染症内科特任部長の藤田浩二さんに聞きました。24ページ「今月の津山人」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染の疑いのある人は

次のいずれかの症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」に電話かファクスで相談してください。

- ①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
- ②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ③妊娠中の人で、①か②の状態が2日程度続いている

※次のいずれかに該当する人で、①か②の状態が2日程度続く場合は、かかりつけ医に相談してください

- 高齢者
- 糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD〈慢性閉塞性肺疾患〉など）の基礎疾患がある
- 人工透析を受けている
- 免疫抑制剤や抗がん剤などを使っている

■帰国者・接触者相談センター（美作保健所内） ☎23-0163、☎23-6129

受付時間 電話＝24時間対応可（平日午後5時～翌午前9時と土曜日・日曜日・祝日は、留守番電話につながります。応答メッセージに従ってください）、ファクス＝平日午前9時～午後5時

新型コロナウイルスについての一般的な問い合わせ

次のいずれかの窓口で電話かファクスで相談してください。

■津山市新型コロナウイルス感染症対策本部コールセンター（電話相談窓口） ☎32-2062

受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分

■厚生労働省電話相談窓口 ☎0120-565653（フリーダイヤル）、☎03-3595-2756

受付時間 午前9時～午後9時（土曜日・日曜日・祝日も可）

■岡山県電話相談窓口 ☎086-226-7877、☎086-225-7283

受付時間 平日＝午前9時～午後9時、土曜日・日曜日・祝日＝午前9時～午後5時

市ホームページに情報を掲載しています

新型コロナウイルス感染症の情報は、市ホームページに掲載しています。情報は随時更新しているので、ご覧ください。

また、イベントなどの内容を変更、延期、中止する場合があります。詳しくは、各問い合わせ先への電話、市ホームページなどで確認してください。

※市公式LINEのトーク画面のリッチメニューを使うと、簡単に市ホームページにたどりつくことができます。右のQRコードから「友だち登録」をしてください

※4月1日時点の情報です。状況により内容が変わる場合があります



市ホームページ



市公式LINE

令和2年度当初予算の概要をお知らせします

令和2年度の主な事業

健やかで安心できる支え合いのまちづくり

地域生活支援拠点等整備事業 244万円

障害のある人が地域で活動できるよう、相談や緊急時の受け入れ、体験の場などの機能を持つ支援拠点を、鏡野町・美咲町・久米南町と共同で開設します。

DV被害者支援事業 181万円

令和3年度に県北部で初めて設置する「配偶者暴力相談支援センター」の開設に向けた準備を行います。

防犯対策等事業 25万円

高齢者を狙った特殊詐欺被害を防止するため、通話内容を録音する防犯機能が付いた電話などへの買い替えを補助します。※詳しくは9ページをご覧ください

雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり

地域材利用促進事業 5,000万円

地域材の積極的な利用による需要拡大と地域経済の活性化のため、地域材を利用した住宅の新築とリフォームを補助します。令和2年度からリフォームへの補助金を拡充します。

つやま和牛ブランド化事業 4,697万円

つやま和牛の流通量を増やし、ブランド化を進めるため、肥育資金の貸し付けを行うための基金への出資を増やします。



新規学卒者地域内就職応援事業 1,109万円

地域内企業と学生をつなぐ就活前セミナーや地域企業見学会などを新たに開始します。

空き店舗等活用賑わい創出支援事業 1,000万円

中心商店街や城東・城西地区の空き店舗などに魅力ある店舗の出店を促進するため、事業費の一部を補助します。令和2年度から重点対策エリアを設定し、取り組みを強化します。

豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり

ごみ焼却施設解体撤去事業 4億9,755万円

市内小桁の旧ごみ焼却場にある地下構造物の撤去などを、令和3年度までの2年間で行います。

災害への備えと都市機能の充実したまちづくり

ごんごバス車両更新事業 4,044万円

ごんごバス西循環線で運行する「ごんごバス」の車両2台を更新します。

災害廃棄物処理計画策定事業 500万円

災害廃棄物を円滑に処理するための対応策など処理手順を定めた「災害廃棄物処理計画」を策定します。

小型乗合交通（グループタクシー）事業 362万円

交通空白地の解消のため、既存のタクシー制度を利用した小型乗合交通（グループタクシー）の導入に向けた社会実験を、市内3地区で行います。

まちなかサイン整備事業 195万円

外国人を含む観光客に分かりやすい案内標識の統一や、城下町にふさわしい落ち着いたデザインへの転換を進めるため、整備ガイドラインを策定します。